

2026 年度 韓国派遣



到着してすぐにキンパやトッポギを食べ、その後もカルグクス、チーズタッカルビ、プデチゲ、スンドゥブ、サムギョプサル、ジャージャー麺など、たくさんの韓国料理をいただきました。毎食、辛くて熱々の料理が多く、日本の食事との違いを感じました。また、小皿に盛られたおでんや漬物、もちろんキムチも毎回食卓に並んでいました。日本でも韓国料理を食べる機会がありますが、実際に韓国を訪れて現地の料理を食べることで、味だけでなく、食事の雰囲気や食べ方など、日本との違いにも気づくことができました。今回の研修を通して、韓国の食文化を実際に体験し、より身近に感じることができました。



鳥頭山統一展望台を訪れ、韓国と北朝鮮の比較や、北朝鮮の都市である平壤の観光地などについての展示を観覧しました。展望台からは、実際の北朝鮮の街並みや景色を自分の目で見ることができ、韓国と北朝鮮の現状を身近に感じる貴重な機会となりました。

大韓民国歴史博物館では、韓国の近代から現在に至るまでの歴史について学びました。また、実際に選挙ポスターが展示されており、歴史だけでなく韓国の政治についても知ることができました。今回の研修を通して、韓国の歴史や現在の社会について、より深く理解することができました。さらに、この博物館では韓国の歴史を学べる体験コーナーでは、時代ごとの文化や人々の暮らしを学びながら、インセンネッコ(人生4カット撮影)のような写真撮影も体験しました。



現地の方との交流では、安山国際ビジネス高等学校を訪問し、韓国の高校生と交流しました。学校生活や文化について話す中で、日本と韓国の違いを知るだけでなく、お互いの国について自分たちのことを伝え合うことができました。また、私たちが想像していた以上に盛大に歓迎していただき、温かく迎えていただきました。その経験から、韓国の方々の相手を温かく受け入れ、歓迎する文化を実際に感じることができました。言葉や文化が違っていても、相手を思いやり、積極的に交流することで気持ちを通わせることができると学びました。今回の交流を通して、韓国の高校生との距離が一気に近くなったように感じました。派遣の中で1番充実した時間でした。